

2017年6月20日付  
日刊産業新聞

塗装技術講習会  
実務者40人参加

広島県鉄構工業会

【広島】広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳スエントス社長）は13日、広島市内で「塗装技術講習会」を開催、組合各社の実務者を中心に約40人が出席した。全国鉄構工業協会が主催する塗装技術の講習会は全国的にも珍しく、広島市産業振興センターの協力を得て、広島県での開催が実現した。

講習会では、広島国際学院大学工学部の山崎勝弘教授が「利益を上げるための塗装技能者養成法」をテーマに講演を行った。初めに参加者からの技術相談では、塗装時のタレ・塗装ムラの改善方法や気温の変化による適正な希釈率の調整などの質問が挙がった。これに対して山崎教授は、塗料の粘性度をシンナー量に応じて測るなど、原因を調べてから

解決策を導く必要があると回答した。続いて塗装関連企業における課題として、塗装品質の維持・向上とコストダウンの両立について語った。

広島市産業振興センターは、工業技術支援アドバイサー派遣事業を行っている。広島市内に事業者または工場を有する中小企業が対象で、3回まで無料でさまざまな分野の専門家から具体的な相談や指導を受けられる。